

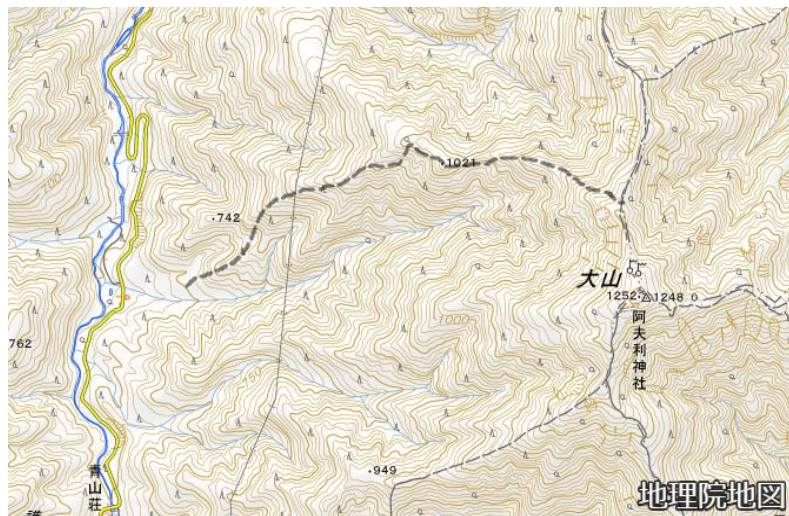
## 丹沢：ヨモギ尾根

- ◆日程 2019年11月10日(日)
- ◆メンバー L：小山田、佐藤(俊)、大山
- ◆天候 晴れ

蛭もいなくなり、低山の季節がやってきた。紅葉も期待して、人のいないところを歩きたいと思い、ヨモギ尾根を下降することにした。そのまま帰るだけではつまらないので、当初は大山北尾根から大山に登る予定でいたが、前日地図を眺めていて、カンスコロバシ沢右岸尾根、というさらに誰も登らなさそうな尾根をみつけた。当日メンバーに了承をとりつけ、ここを歩くことにした。

秦野駅のヤビツ峠行きバス停は長蛇の列で、臨時バスが出た。ヤビツ峠のトイレは断水だとかで使えず、仮設トイレが三つ並んでいた。表尾根登山口のトイレも使えず。ここで三人の高度計を合わせる。表尾根は人でいっぱい、三ノ塔までさっさと進む。よく晴れて、富士山が美しい。三ノ塔先のお地蔵様の横から、ヨモギ尾根に入る。顕著な尾根で、踏み跡もある。でも先行者がひとりいるだけで、表尾根の喧騒が嘘のように静かで、いいところだ。紅葉している木もちらほら。すぐにヨモギ平。そこここに、朽ちかけたベンチがある。少し早いが、ここで昼食。眺望はあまりないが、自然林のなかできもちがいい。ボスコキャンプ場に向かって降りていくと、途中からブルドーザーで作ったらしい、まだ新しい道にぶつかった。どうやらかなり上まで道を伸ばすようだ。だいぶ木も切り倒してある。なんだか、がっかり。キャンプ場を広げるのだろうか。

いったん県道まで降り、神社の鳥居をくぐって、カンスコロバシ沢を渡り、右岸尾根にとりつく。送電線と鉄塔があるので、迷わないだろうと思っていたが、どうも三人の高度計がおかしい。とりあえずの目標の鉄塔に着いたが、実際よりも高くでているようだ。天气が崩れる様子もなく、ピーカンの晴れなのだが、気圧が変化してきているのだろうか。とりあえず予定の鉄塔だと信じて進むと、地図にあったモノレールと出会って一安心。振り返ると下ってきたヨモギ尾根が見える。急登を登るとほどなくして大山北尾根と合流した。最後に鹿柵を脚立で超えて大山山頂へ。もう陽が傾きかけている時間だったが、だいぶ人がいた。今日は夕方になっても富士山がくっきりと見えていた。一休みして、下りは少し飛ばし気味に歩き、16時台のヤビツ峠のバスに間に合わせた。久しぶりに地図を細かくにらみながらの山行で、楽しく充実した時間だった。(記：小山田)



CT：ヤビツ峠 8:40 - 二ノ塔 9:40 - 三ノ塔 10:10 - ヨモギ平 11:15/11:45 -  
ボスコキャンプ場 12:30 - 諸戸神社 13:00 - 大山山頂 15:00 - ヤビツ峠 16:00